

非常配備要員報告書

部 班 非常配備要員名簿 (課)

〔 部 長 人 班 長 人
第 1 配備 人 第 2 配備 人 第 3 配備 人 〕

配備 区分	グループ ・ 職名	氏 名	住 所	登 庁 方 法	電話番号	備考
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		
				徒 歩・自転車 その他()		

- (注) 1 配備区分欄は、非常連絡員、第 1、第 2、第 3 又は避難所と記入すること。なお、初動体制による緊急防災要員は、備考欄に○を記入すること。
- 2 登庁方法欄は、徒歩、自転車、その他いずれかを○で囲み、その他については方法を記入すること。
- 3 電話番号欄は、呼出も含めなるべく記入すること。
- 4 所属職員中の避難所要員について記入漏れのないよう注意すること。

応 援 職 員 要 請 書

様

年 月 日

部 長

期 間	月 日 ～ 月 日 日間
勤務（従事）場所	
勤務（従事）内容	
必 要 人 員	男 人 女 人 計 人
携 帯 品	
集合日時・場所	月 日
その他参考事項	

災 害 情 報			
受 信 日 時	年 月 日 時 分		
発 信 機 関		受 信 機 関	
発信担当者		受信担当者	
災害の原因			
発 生 日 時	年 月 日 時 分		
発 生 場 所			
被害の程度			
災害に対して とられた措置			
そ の 他 必 要 事 項			

様式第 4

〔災害概況即報〕

消防庁受信者氏名

災害名 (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所				発生日時	年 月 日 時 分				
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部破損	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)			(市長村)				

(注) 第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認等」)を記入して報告すれば足りること。)

様式第5

災 害 発 生 直 後 の 状 況

原 因					発 生 日 時					
発 生 場 所										
受 発 信 時 刻			月 日 時 分							
発 信 機 関					発 信 者					
受 信 機 関					受 信 者					
区 分			被害		区 分		被害			
被害程度及び応急対策状況(経過)										
人 的 被 害	死 者		人		そ の 他	鉄 道 不 通		か所		
	行 方 不 明 者		人			水 道		か所		
	負 傷 者	重 傷 者		人			電 話		回線	
		軽 傷 者		人			電 気		戸	
住 家 被 害	全 壊		棟		ガ ス 戸					
			世帯			災 害 対 策 本 部 設 置 状 況		設置		
			人					廃止		
	半 壊		棟		避 難 の 勧 告 指 示 等 の 状 況		地区			
			世帯				人			
			人		避 難 ヶ 所	所				
	一 部 損 壊		棟		避 難 人 数	人				
			世帯		要 請 事 項					
			人							
	床 上 浸 水		棟							
			世帯							
			人							
	床 下 浸 水		棟							
			世帯							
人										
そ の 他	道 路	損 壊	か所							
		冠 水	か所							
		(通行不能)	か所							
	橋 り よ う	か所								
	河 川	破 堤	か所							
		越 水	か所							
		そ の 他 法 面 崩 壊 等	か所							
	砂 防	か所								
	崖 く ず れ	か所								
	地 す べ り	か所								
土 石 流	か所									

様式第 6

災害発生状況等（速報・確定報告）

月

日

原 因								発 生 日 時													
発 生 場 所																					
発 信 機 関								発 信 者													
受 信 機 関								受 信 者													
区 分				被害		区 分				被害		区 分				被害					
人 的 被 害	死 者		1	人			橋 り ょ う		31	か所			そ の 他	水産被害		61	千円				
	行方不明者		2	人			河 川	破 堤		32	か所			商工被害		62	千円				
	負 傷 者	重傷者		3	人			越 水		33	か所			そ の 他		63	千円				
		軽傷者		4	人			その他（法面崩壊等）		34	か所			被 害 総 額		64	千円				
住 家 被 害	全 壊		5	棟			そ の 他	港湾・漁港		35	か所			災 害 対 策 本 部 設 置 状 況	65	設置					
			6	世帯				砂 防		36	か所				66	廃止					
			7	人				清掃施設		37	か所			避 難 の 勧 告 ・ 指 示 等 の 状 況	67	地区					
	半 壊		8	棟				崖くずれ		38	か所				68	人					
			9	世帯				地すべり		39	か所			消防職員出勤延人数	69	人					
			10	人				土 石 流		40	か所			消防団員出勤延人数	70	人					
	一 部 損 壊		11	棟				鉄 道 不 通		41	か所			避 難 所 数	71	か所					
			12	世帯				被 害 船 舶		42	隻			避 難 人 数	72	人					
			13	人				水 道		43	戸			避 難 人 数 （うち自主避難）	73	人					
	床 上 浸 水		14	棟				電 話		44	回線			避 難 世 帯 数	74	世帯					
			15	世帯				電 気		45	戸			避 難 世 帯 数 （うち自主避難）	75	世帯					
			16	人				ガ ス		46	戸			被害程度及び応急対策状況（経過）							
	床 下 浸 水		17	棟				ブロック塀等		47	か所										
			18	世帯				り 災 世 帯 数		48	世帯										
			19	人				り 災 者 数		49	人										
	非 住 家	公 共 建 物		20	棟			火 災 発 生	建 物		50	件			要 請 事 項						
そ の 他		21	棟			危 険 物			51	件											
そ の 他	田	流失・埋没	22	ha			そ の 他		52	件											
		冠 水	23	ha			公立文教施設		53	千円											
	畑	流失・埋没	24	ha			農林水産施設		54	千円											
		冠 水	25	ha			公共土木施設		55	千円											
	文 教 施 設		26	か所			その他の公共施設		56	千円											
	病 院		27	か所			小 計		57	千円											
	道 路	損 壊	28	か所			そ の 他	農 業 被 害		58	千円										
		冠 水	29	か所				林 業 被 害		59	千円										
		(通行不能)	30	か所				畜 産 被 害		60	千円										

(注) 速報の場合は53から64までの項目については報告する必要はない。

人 的 被 害

(第 報)

報告の時刻	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内 容			
発 生	日 時	日 時 分	
	場 所		
	原 因		
人 的 被 害 の 状 況	被害程度	1. 死亡 2. 行方不明 3. 重傷 4. 軽傷	
	氏 名 等	(氏名) (生年月日) 性別 ()	
	住 所		
	収 容 先		
	その他参考事項 (応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等)		

避難状況・救護所開設状況

(第 報)

報告の時刻		日 時 分現在		受信時刻		時 分	
発信機関				受信機関			
発信者名				受信者名			
内 容							
避難 状 況	避難先	地区名	避難の勧告、指示 の種類及び日時	世帯数	人数	屋内 屋外の別	今後の見通し
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分			屋内 屋外	
救 護 所 開 設 状 況	救 護 所 名		設 置 場 所	収 容 人 数		実 施 機 関	
				重 傷	軽 傷		

公 共 施 設 被 害

(第 報)

報告の時刻	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内 容			
被害区分	ア.河川 イ.海岸 ウ.貯水池・ため池等 エ.砂防 オ.港湾・漁港 カ.道路 キ.鉄道 ク.電信・電話 ケ.電力 コ.ガス サ.水道 シ.その他 ()		
発 生	日 時	日 時 分	
	場 所		
	原 因		
状 況	被害区域 区 間		
	管理者	(電話)	
	被害程度 (概要)		
	応急対策 の状況		
	復旧見込		
	その他 参考事項		

避難者名簿（世帯別）

〔避難所名 〕

住 所											
世帯主氏名								電話番号		—	
避難者氏名				続柄		年齢		性別		避難時期～帰宅時期	
								男・女		月 日 ～ 月 日	
								男・女		時 分 ～ 時 分	
								男・女		帰宅後連絡先	
								男・女			
								男・女			
								男・女		備 考	
								男・女			
								男・女			
								男・女			
								男・女			
								男・女			
内 訳		男		人		女		人		計	

- （注） 1 「避難者氏名」欄には、避難者全員を記入すること。
- 2 「続柄」欄には、世帯主との続柄を記入すること。
- 3 「性別」欄には、男女の別を○で囲むこと。
- 4 「帰宅後連絡先」欄には、避難所退所後自宅以外の場所で生活する場合の住所及び連絡先等を記入すること。
- 5 「備考」欄には、人員の増減の経過、その他特記すべき事項等を記入すること。

避難所収容台帳

責任者 認 印	月 日	最高 収容人員数 (人)	物 品 使 用 状 況		記 事	備 考
			品 名	数 量		
	月 日					
	月 日					
	月 日					
	月 日					

- (注) 1 「人員数」欄は、当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
- 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品名、使用数量を記入すること。
- 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

避難所用物品受払簿

品 名		単 位 呼 称					
年 月 日	購 入 先 ・ 受 入 先 ・ 払 出 先			受	払	残	購 入 金 額 他
合 計							

- (注) 1 購入先又は受入先及び払出先を必ず記入すること。
- 2 「購入金額他」欄には、金額の他、特記すべき事項を記入しておくこと。
- 3 「合計」欄には、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

避難所設置及び収容状況

避難所の名称	所在地	種別	開設期間	実人数	開設日数	延人数	備考
		既存・野外	月 日～ 月 日				
		既存・野外	月 日～ 月 日				
		既存・野外	月 日～ 月 日				
		既存・野外	月 日～ 月 日				
		既存・野外	月 日～ 月 日				
		既存・野外	月 日～ 月 日				
計		既存建物					
		野外仮設					

- (注) 1 「種別」欄には、既存建物か野外仮設かいずれかを○で囲むこと。
 2 「計」欄には、既存建物利用の場合と野外仮設利用の場合の区別に合計しておくこと。

避難命令（勧告）記録簿

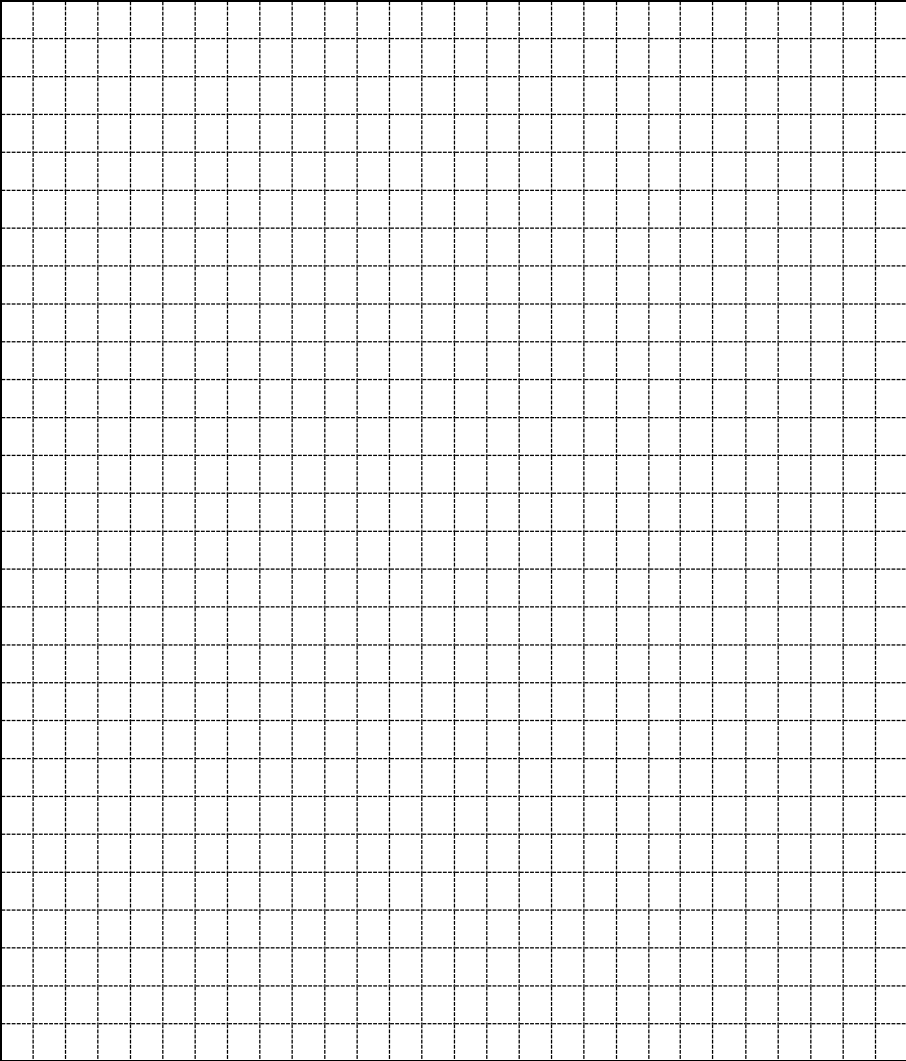
命 令 月 日	時 間	避 難 す る 地 域	避 難 人 員	避 難 先	発 信 者 氏 名	受 信 者 氏 名

様式第15

被災状況調査票（兼台帳）（表）

町 名										罹災証明番号										
住 所										氏 名										
被 災 者 調 査 票										応 急 救 助 の 状 況 （ 台 帳 ）										
	氏 名	年 齢	続 柄	性 別	職業(学年)	死亡・負傷・行方不明	被災場所	備 考	避難所	炊き出し等	医 療	助 産	学用品	燃 料	死体処理	搬 出				
1				男 女																
2				男 女																
3				男 女																
4				男 女																
5				男 女																
6				男 女																
7				男 女																
8				男 女																
被 災 家 屋 調 査 票						調 査 員 意 見			備考（本欄に記載した者は文末にサインすること）			応急仮設住宅								
住 家	全壊・焼	m ²	1 自 家	1 自 地	避難所収容	要 否	日 間 名				住宅の応急修理									
	半壊・焼	m ²	2 借 家	2 借 地	炊き出し	要 否	日 間 名				生業資金									
	流 失	m ²	3 間 借		生業資金貸付	要 否					寝具・被服		1	2	3	4	5	6	7	
	浸 水	床上	床上 cm	m ² 日数 日	応急仮設住宅	要 否					日用品		1	2	3	4	5	6	7	
		床下	m ²			住宅の応急修理	要 否					差損金		1	2	3	4	5	6	7
		便所のみ				課 税 状 況	非課税 均等割 所得割					差損物		1	2	3	4	5	6	7
非 住 家	全壊、焼	m ²	用 途 別	機械器具等被害	家 財	滅失、流失、焼失 き損 1 以上						1		2	3	4	5	6	7	
	半壊、焼	m ² %	丁 場	有 無	そ の 他						1		2	3	4	5	6	7		
	流 失	m ²	店 舗	有 無	年 月 日午前 時調査 午後			嘱託員 印		調査担当員 課 印										
浸 水	日数 日 m ²	倉 庫	有 無	再 年 月 日午前 時調査 午後			嘱託員 印		調査担当員 課 印											

(裏)

家屋所在地見取図	構 造	延 床 面 積	自借敷地の別	自借家の別	被害の程度
		m ²	自 借	自 借	全 半 部
		N			
		・ 借家の場合は、所有者の住所、氏名を記入			

罹 災 証 明 申 請 書

年 月 日

申請者	住 所
	氏 名
	電話番号

被災住家の 世帯主住所	☐ 申請者と同じ
被災住家の 世帯主氏名	☐ 申請者と同じ
世帯関係追加事項	

罹災原因	年 月 日の（ ）による
------	--------------

被災住家の 所在地	
--------------	--

※住家とは、現実には居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

住家以外の被害	
---------	--

自己判定調査 同意欄 (希望する場合)	○準半壊に至らない（一部損壊）の罹災証明書の交付には自己判定方式を選択いただけます。 ○自己判定方式では、申請者等による被害箇所を撮影した写真の確認をもって調査に代えるため、現地調査は行いません。 ☐上記の事項に同意の上、自己判定調査を希望します。
---------------------------	---

罹 災 証 明 書

世帯主住所	
世帯主氏名	
世帯関係追加事項	

罹災原因	
------	--

被災住家の所在地	
住家の被害の程度	
被災程度追加事項	

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

住家以外の被害	
---------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

津島市長 日 比 一 昭

被災者救出状況記録簿

年 月 日	救出地区	救出人員	救 出 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		

（注）救出用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。

被災者救出用機械器具・燃料受払簿

品 名		単 位					
		呼 称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に、購入金額を記入しておくこと。
- 3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

被災者救出用機械器具修繕簿

機械器具の名称	所有者（管理者）氏名	故障年月日	故障の概要	修繕年月日	修繕費	備考

（注）「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

炊 き 出 し 給 与 簿

責任者

印

給 食 年 月 日		給 食 数	実 施 場 所	給 食 内 容	備 考
年 月 日	区 分				
	朝				
	昼				
	夕				
	朝				
	昼				
	夕				
	朝				
	昼				
	夕				
計	朝				
	昼				
	夕				

(注) 1 炊き出しを実施した直後の責任者ごとに作成すること。

2 「実施場所」欄は、学校等実際に炊き出しその他による食品の給与を実施した場所を記入すること。

3 「給食内容」欄は、要すれば献立を記入すること。

炊き出しその他による食品給与物品受払簿

品 名		単 位 呼 称				
年 月 日	摘 要			受	払	残 備 考

- (注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

炊き出し用物品借用簿

品名	数量	期間	金額	所有者（管理者）の氏名	使用避難場所の名称	備考

（注） 「期間」欄は、「〇月〇日から〇月〇日までの〇日間」と記入すること。

飲料水供給記録簿

供給年月日	供給地区	対象人員	給 水 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		

（注） 1 「対象人員」欄の人員数は、概数で記入して差し支えない。

2 給水用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ借上額を「金額」欄に記入すること。

給水用機械器具・燃料及び浄水用薬品・資材受払簿

品 名		単 位					
		呼 称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

給 水 用 機 械 器 具 修 繕 簿

給水用機械器具の 名称	所有者（管理者）氏名	故障年月日	故 障 の 概 要	修繕年月日	修 繕 費	備 考

（注）「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

物 資 受 払 簿

品 名		単 位 呼 称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考
	計 県調達分 市調達分						

(注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。

2 市町村の場合においては、最終行欄に都道府県より受入分及び市町村調達分別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

物資給与及び受領簿

住居被害程度区分		給与の基礎となった世帯構成数	
----------	--	----------------	--

災害救助用物資として、次の内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住 所

世帯主

印

給与年月日	品 名	数 量	備 考	給与年月日	品 名	数 量	備 考

(注) 被災者の受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日とすること。

病 院 診 療 所 医 療 実 施 状 況

診 療 機 関 名									
住 所	患 者 氏 名	診療期間	病 名	診療区分		診 療 報 酬 点 数			備 考
				入院	通院	入 院	通 院	金 額	
				人	人	点	点	円	

助産台帳

分 べ ん 者			分べんの日時場所	助 産 機 関 名	期 間	金 額	備 考
住 所	氏 名	年 齢					

遺 体 捜 索 状 況 記 録 簿

年 月 日	捜 索 地 区	捜索遺体	捜 索 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		

（注）捜索用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。

遺 体 搜 索 用 機 械 器 具 ・ 燃 料 受 払 簿

品 名		単 位 呼 称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考

- (注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

遺 体 捜 索 用 機 械 器 具 修 繕 簿

機械器具の名称	所有者（管理者）氏名	故障年月日	故 障 の 概 要	修繕年月日	修 繕 費	備 考

（注）「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

遺 体 処 理 台 帳

死 亡 年 月 日	死 亡 原 因	遺 体 発 見 の 日 時 及 び 場 所	死 亡 者		遺 族		洗 浄 等 の 処 置 費			遺 体 一 時 保 存 の 場 所 及 び 保 存 の 期 間	備 考
			住 所 氏 名	年 齢	住 所 氏 名	死 亡 者 と の 関 係	品 名	数 量	金 額		

埋 火 葬 台 帳

死 亡 年 月 日	死 亡 原 因	埋 葬 年 月 日	死 亡 者		埋火葬を行った者		埋 火 葬 費				備 考
			住 所 氏 名	年 齢	死 亡 者 と の 関 係	住 所 氏 名	棺 付属品 を含む	埋葬 又は 火葬料	骨 箱	計	

- (注) 1 埋火葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入しておくこと。
 2 市長等が棺、骨箱等を現場で給与したときは、その旨を「備考」欄に明らかにしておくこと。
 3 埋火葬を行った者に埋火葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入しておくこと。

応急仮設住宅入居申請書

今次 による災害のため住家を滅失したので災害救助法第4条による応急仮設住宅の入居を申請します。

年 月 日

申請者	住 所
	氏 名
	電話番号

添付書類	1 罹災証明書 2 建設予定地の有無（見取図添付）
------	------------------------------

※ 記入しないでください。

許可の可否	入居させる住宅	世帯人員	その他特記事項

却下の理由	
-------	--

応 急 仮 設 住 宅 入 居 申 請 者 名 簿

NO.	被災者 名 簿 番 号	氏 名	年 齢	職 業	現 住 所	家 族 数	入 居 希 望 住所所在 地 番 号	住 居 所 在 地	調 査 員	市長決 定

応 急 仮 設 住 宅 入 居 者 台 帳

応急仮設住 宅番号	住 所	世帯主氏名	家 族 数	入 居 年 月 日	敷 地 区 分	摘 要

応急仮設用敷地賃貸借契約書

賃貸人（以下甲という。）と賃借人津島市（以下乙という。）とは、次のとおり契約を締結する。

第1条 甲は、その所有に係る末尾記載の土地（以下単に土地という。）を、乙に賃貸し、乙はこれを賃借する。

第2条 乙は、本件土地を応急仮設用敷地としてのみ使用するものとする。

第3条 土地の賃貸借期間は、 年 月 日から 年 月 日までとする。
ただし、期間満了1か月前に、当事者双方から何らかの申し出がないときは、満了の日から起算して満1か年間更に更新するものとする。

第4条 賃貸借料は、1か月につき、金 円也（1平方メートルにつき、金 円の割）として、乙は、毎月 日までに甲の指定する金融機関口座に振り込むことにより、支払うものとする。

第5条 乙は、本契約終了のときは、本件土地を現状に回復して、直ちに甲に明け渡さなければならない。

第6条 賃貸借期間中の本件土地に対する租税、その他の公課については、甲の負担とする。

第7条 甲は、賃貸借物件を第三者に売却又は譲渡しようとするときは、その買受者又譲受者に本契約の務を継承させること。この場合、甲乙両者協議のうえ本契約書を解し、買受者又は譲受者と新たに契約するものとする。

第8条 この契約書に定めのない事項については、甲乙協議し、円満に解決するものとする。

以上のとおり契約し、本証書2通を作成し、甲乙1通を保管するものとする。

年 月 日

甲	住 所	
	氏 名	印
乙	住 所	
	氏 名	印

土地の表示

所在地	津島市	番
地 目		
地 積	平方メートル	

津島市応急仮設住宅入居契約書

応急仮設住宅の入居につき貸渡人津島市（以下甲という。）と借受人（以下乙という。）とは、次のとおり契約を締結する。

第1条 甲は、乙が使用する目的をもって次に記載した建物を第2条以下の条件を付して乙に貸渡し、乙はこれを借受けるものとする。

所 在 地 津島市 番地
 応急仮設住宅 第 号
 床面積 平方メートル

第2条 貸付期間は、 年 月 日から 年 月 日までとする。ただし、期間満了したときは市の指示に基づくものとする。

第3条 貸付料は、第2条の期間内は無償貸付とする。

第4条 住宅の維持管理については、すべて乙の負担とする。

第5条 乙は、次の行為をしてはならない。

- 1 住宅を他人に貸与し又はその使用权を譲渡すること。ただし、相続により継承する場合はこの限りでない。
- 2 住宅をき損又は汚損するような業務を譲渡すること。
- 3 甲の承認を受けないで乙以外の者を同居させること。
- 4 甲の承認を受けないで建築物の模様替えをすること。

第6条 乙が住宅の使用を廃止しようとするときは、5日前までにその期日及び事由を具し、甲に届け出なければならない。

- 2 前項の場合において滅失又はき損したものがあるときには、乙は退去前にこれを原形に復し、又はその費用を弁償するものとする。

以上のとおり契約し、本証書2通を作成し、甲乙1通を保管するものとする。

年 月 日

甲 住 所
 氏 名 印

乙 住 所
 氏 名 印

決 定 通 知 書

住 所
氏 名

年 月 日付けをもって申請のあった応急仮設住宅入居については次のとおり決定したので通知します。

年 月 日

津島市長

印

記

- 1 申請については許可（却下）します。
却下の理由
- 2 津島市との間に応急仮設住宅入居契約を直ちに行ってください。
（本状及び印鑑持参のうえ市役所においてください。）

条件

- 1 応急仮設住宅入居の期間は、入居の日から2年間以内であること。
したがってその間に他に住居を移すよう努力すること。
- 2 この住宅は他の者に絶対貸さないこと。
- 3 この住宅を返還するときは、入居のときと同じ状態にしておくこと。

住 宅 応 急 修 理 記 録 簿

住 所	世帯主 氏 名	職 業	家 族 数	修理箇所概要	修 理 着 工 年 月 日	修 理 完 了 年 月 日	修 理 費	備 考

住 宅 応 急 修 理 申 請 者 名 簿

NO.	被災者 名 簿 番 号	氏 名	年 齢	職 業	現 住 所	家 族 数	世 帯 月 収	修繕着工 完了月日	調 査 員	市長決定	
										可否	決定額

住 宅 応 急 修 理 対 象 者 選 定 調 書

住 所		氏 名	
調 査 員	資産状況 動 産	職 業	
	不 動 産		
注意事項	被災の概要	家庭の概要	
民生委員の意見			
調査員総合意見			
要 施 工	有 無	調査員	

許可の可否	工 事 期 間	工 事 費	施 工 者	
			氏 名	住 所
可 否	年 月 日 年 月 日	円		

災害救助法による住宅応急修理申請書

今次 による災害のため家屋に別添のとおり被害をうけたので
災害救助法第4条による住宅の応急修理を申請します。

年 月 日

申請者	住 所
	氏 名
	電話番号

添付書類	1 罹災証明書 2 建設予定地の有無（見取図添付） 3 被害家屋の位置図
------	--

※ 記入しないでください。

許可の可否	工 事 期 限	工 事 費	施 工 者	
	年 月 日		氏 名	住 所

却下の理由	
-------	--

決 定 通 知 書

住 所

氏 名

年 月 日付けをもって申請のあった家屋の応急修理申請については
次のとおり決定したので通知します。

年 月 日

津島市長

印

記

- 1 申請については許可（却下）します。

却下の理由

- 2 工事者には、次の条件で工事を行わせてください。

- (1) 年 月 日までに工事完了のこと。
- (2) 工事が完了したときは、その旨を市役所に連絡し、検査を受けること。

障 害 物 除 去 の 状 況 記 録 簿

住家被害 程度区分	住 所	氏 名	職 業	家族数	除去に要すべき 状 態 の 概 要	除 去 に 要した期間	金 額	備 考

学用品交付簿

学生（学校）

住家の 被害区分	学年	学童（生徒） 氏 名	親 権 者 住所・氏名	受領 印	給 与 品 内 訳						給 与 年 月 日	備 考
					教科書	教材	ノート	鉛筆	筆入			

（注）本簿には、小中学生別とすること。なお、学校ごとに作成しても差し支えない。

学用品購入（配分）計画表

小 中 学 区 分		小 学 生						中 学 生						合 計		備 考	
		全壊流失分			半壊床上浸水分			全壊流失分			半壊床上浸水分						
		児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	数 量	金 額		
品 名	単価	人		円	人		円	人		円	人		円		円		

（注） 1 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書（教材を含む。）については、別途適宜作成するものであること。

2 県調達分があるときは、その旨を各品目ごとに「備考」欄に明らかにしておくこと。

輸 送 記 録 簿

年月日	目 的	輸 送 区 間		使用車両船舶等		輸送担当者	金 額	備 考
		区 間	距 離	種 類	台 数			

- (注) 1 必要に応じ都道府県又は市町村の車両等による場合とその他の場合に区分し、別頁として差し支えないこと。
 2 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 3 都道府県又は市町村の車両等による場合は、「輸送担当者」欄に車両番号を記入すること。
 4 借上車両等による場合は、有無償の別を問わず記入すること。
 5 「金額」欄は、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

燃 料 及 び 消 耗 品 受 払 簿

品 名		単 位 呼 称				
年 月 日	摘 要			受	払	残 備 考
	計					

(注) 1 必要に応じ都道府県又は市町村所有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分を別冊又は別頁として差し支えないこと。

2 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。

3 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。

4 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

輸 送 車 両 修 繕 簿

輸送年月日	目 的	故障年月日	故障場所	故 障 車 両 等		故障の概要	修 繕 年 月 日	修 繕 費	備 考
				名 称 場 所	所有者氏名				

(注) 1 必要に応じ都道府県又は市町村所有の車両等による分とその他の車両等による分を別頁として差し支えない。
2 「故障の概要」欄は、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

様式第53

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

様式第54

第		号		年		月		日		
緊急通行車両等確認証明書										
愛知県知事 印										
番号標に表示されて い る 番 号										
車両の用途（緊急 輸送を行う車両に あつては、輸送人 員又は品名）										
使 用 者	住 所	() 局 番								
	氏 名									
通 行 日 時		年		月		日		午前・午後		時から
		年		月		日		午前・午後		時まで
輸 送 経 路		出 発 地				目 的 地				
備 考										

備考 用紙は、日本工業規格A4とする。

登録(車両)番号

緊急

有効期限 年 月 日

15

21

(備 考)

- 1 色彩は、記号を黄色、緑色及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 等 受 入 記 録 簿

月 日	団 体 名	代表者氏名	人 員	依 頼 し た 業 務	期 間

災 害 派 遣 要 請 書

発 簡 番 号
年 月 日

災 害 派 遣 要 請 者 様

津島市長

部隊等の派遣要請書

災害を防除するため、下記のとおり自衛隊の災害派遣を要請します。

記

- 1 災害の情况及び派遣を要請する理由
災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）
派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 区 域
 - (2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）
- 4 その他参考となるべき事項
その他の細部については、において調整する。

2項に関しては、具体的に表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現

災 害 派 遣 撤 収 要 請 書

発 簡 番 号
年 月 日

災 害 派 遣 要 請 者 様

津島市長

災害派遣部隊撤収要請書

災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、月 日
をもって派遣部隊等を撤収されるよう要請します。

生 業 ・ 就 職 支 度 資 金 貸 与 申 請 書

今次 による災害のため生業の手段を喪失した（又はあらたに
就職したい 生業を始めたい）ので災害救助法第4条による 資金の貸与を申請します。

年 月 日

申請者	住 所
	氏 名
	電話番号

金額	円
添付書類	1 罹災証明書 2 生業の計画書
民生委員の意見	

※ 記入しないでください。

許可の可否	受 付 金 額	世帯人員	その他特記事項

却下の理由	
-------	--

伺	本部長	副本部長	部 長	班 長	班 員
下欄のとおり決定の上、申請人に通知してよろしいか。					

決 定 通 知 書

住 所
氏 名

年 月 日付けをもって申請のあった資金の貸与については次の
とおり決定したので通知します。

年 月 日

津島市長

印

記

1 申請については許可（却下）します。

却下の理由

2 連帯保証人1名を設定のうえ、別紙借用書に必要事項を記入捺印して市役
所に持参してください。

なお、本状及び印鑑もご持参ください。

災害救助法に基づく

生 業 資 金 借 用 証 書

金						円
---	--	--	--	--	--	---

ただし、

として

貸付の状況

1 償還の方法

年 月 日 から 年 月 日まで

月賦の償還 回償還

2 利 子 無利子

上記のとおり借用しました。

については、上記の条件のとおり、指示に従って相違なく返還することを誓います。

年 月 日

住所
借 受 人
氏名

印

上記について借受人と連帯して返還することを誓います。

年 月 日

住所
連帯保証人
氏名

印

(宛先) 津 島 市 長

生 業 ・ 就 職 支 度 資 金 貸 付 台 帳

貸 与 を 受 け た 者				保 証 人		事業計画概要	貸 付 金 額	貸 与 期 間	備 考
住 所	氏 名	年 齢	職 業	住 所	氏 名				

- (注) 1 貸与年月日と借用書の借用年月日は、符号するものであること。
- 2 「貸付期間」欄は「 年 月 日まで 年 月 日間」と記入すること。
- 3 「備考」欄には、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと。

様式第63

臨時雇上労務者勤務状況

住 所	氏 名	年 齢	単 価	月 分					基本賃金		割増賃金		計	受 領 印	備 考
				日	日	日			日	金 額	日	金 額			
				日	日	日			数		数				

上記のとおり勤務したことを証明する。

年 月 日

津島市 部 課出先機関の長

印

- (注) 1 救助種目ごとに別冊又は別頁とすること。
 2 時間外勤務に従事させた場合は、その数時間を「日別」欄に記入しておくこと。
 3 必要に応じ「賃金受領」欄を設けて差し支えないこと。
 4 適当な場所に勤務証明の奥書をしておくこと。

様式第64

様式第 1

医療救護班名簿

年 月 日

一般社団法人 医師会
会 長 印

職種	氏 名	生年月日	住 所	所属医療機関 団体名

様式第65

様式第 2

(表)

入 院 指 示 書	
住所 氏名 年齢 歳 病名 上記病名により医療機関で入院治療を要する。 年 月 日 一般社団法人 医師会 救護班班長 医師氏名 _____ 印	
※医療機関名 及び所在地	

(裏)

入院指示書を受け取られた方へ 1 この入院指示書で直ちに医療機関で入院治療を受けてください。 2 治療を受けるとき、この指示書を医療機関へ渡してください。
医療機関へ 1 この入院指示書による医療は、災害救助法による救助として取り扱ってください。 2 この入院指示書は、請求書に必ず添えてください。 3 表面の医療機関名欄に記入してください。

様式第66

様式第 3

医療救護班診療記録簿

医療救護班 班長 医師 _____ 印

年月日	住所	患者氏名	年齢	疾患名	措置概要	備考

※ 医師会経由で報告する。

様式第67

様式第 4

医薬品及び衛生材料使用簿

医療救護班 班長 医師 _____ 印

使用年月 日	医薬品 衛生材料品名	使 単	用 位	単価	適用 (受入先)	受	払	残	備考 (使用数量)

※ 医師会経由で報告する。

様式第68

様式第 5

医療救護班日報

年 月 日

医療救護班 班長 医師 _____ 印

医療救護班の所属							
班員氏名	医師						
	看護師						
	事務員						
従事医療救護所 所在地							
救護人員		外科	内科	その他	合計	入院指示書 発行数	死体 検案数
		人	人	人	人	件	件
備考							

※ 医師会経由で報告する。

様式第69

様式第 6 - 1

業 務 災 害 報 告 書

年 月 日

津島市長

殿
住 所

氏 名 一般社団法人 医師会
会 長 印

医療救護班として救護業務に従事した者に、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

様式第70

様式第 6－2

事 故 傷 病 者 概 要

氏 名		性 別	男・女	年齢	歳
住 所					
職 種					
所属医療機関・団体名					
傷病名					
程 度	重 症 ・ 中等症 ・ 軽 傷				
転 帰					
外 来 ・ 入 院	年 月 日				
診療（入院） 医 療 機 関 名					
受傷（発病）日時	年 月 日		午前 午後	時 時	分 分
受傷（発病）場所					
受傷（発病）時の 状況					

※ 医師会経由で報告する。

様式第71

様式第7

費用弁償等請求書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の医療救護に関する協定書に定めるところにより、費用弁償等として、
下記の金額を請求します。

記

請求金額 円

公用令書	従事命令	第 号	年 月 日
従事した業務			
従事した場所			
従事した期間	年 月 日から 年 月 日まで		

※医療救護班ごとに算出明細書を添付すること

金融機関 コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

様式第72

様式第 8

収入
印紙

委 任 状

年 月 日

私たちは、一般社団法人 医師会長 を代表者として、
今次災害の医療救護に係る費用弁償等の請求及び受領に関する一切の権限を委任します。

住 所	氏 名	職 種	印

様式第73

様式第9

医 療 費 請 求 書

年 月 日

津島市長

殿

医療機関所在地

名称

開設者氏名

印

「災害時の医療救護に関する協定書」及び地域防災計画による医療救護の費用として、下記の金額を請求します。

記

請求金額 _____ 円

添付書類

費用算出明細書

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

様式第74

様式第10

療養
休業
障害
遺族
葬祭
打切

扶助金支給申請書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の医療救護に関する協定書に基づく損害賠償金として、下記の金額を支給してくださるよう関係書類を添えて申請します。

申請額

円

公用令書		第 号		年 月 日	
従事者又は協力者	住所			職 業	
	氏名			生年月日	
従事又は協力していた救助業務					
事故発生の日時及び場所					
事故発生の原因及び状況					
傷病名、傷病の程度及び身体の状況					
療養又は休業を要する見込期間					
事故発生時、本人と親族関係にあった主な者の状況	氏名	続柄	生年月日	職業	備考

添付書類 算出明細書

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

※ 医師会経由で報告する。

様式第75

様式第 1

歯科医療救護班名簿

年 月 日

歯科医師会
会 長

印

職種	氏 名	生年月日	住 所	所属医療機関 団体名

様式第76

様式第 2

(表)

入 院 指 示 書	
住所	
氏名	年齢 歳
病名	
上記病名により医療機関で入院治療を要する。	
年 月 日	
歯科医師会 救護班班長 歯科医師氏名 _____ 印	
※医療機関名 及び所在地	

(裏)

入院指示書を受け取られた方へ 1 この入院指示書で直ちに医療機関で入院治療を受けてください。 2 治療を受けるとき、この指示書を医療機関へ渡してください。 医療機関へ 1 この入院指示書による歯科医療は、災害救助法による救助として取り扱ってください。 2 この入院指示書は、請求書に必ず添えてください。 3 表面の医療機関名欄に記入してください。
--

様式第77

様式第 3

齒科医療救護班診療記録簿

齒科医療救護班 班長 齒科医師 _____ 印

[illegible]

※ 歯科医師会経由で報告する。

医薬品及び衛生材料使用簿

齒科医療救護班 班長 齒科医師 _____ 印

[illegible]

様式第79

様式第 5

歯科医療救護班日報

年 月 日

歯科医療救護班 班長 歯科医師 _____ 印

歯科医療救護班 の所属						
班 員 氏 名	歯科医師					
	歯科衛生士					
	事務員					
	歯科技工士					
従事歯科医療救護 活 動 場 所						
救護人員		歯科診療	口腔領域等	その他	合計	入院指示書 発行数
		人	人	人	人	件
備 考						

※ 歯科医師会経由で報告する。

様式第80

様式第 6 - 1

業 務 災 害 報 告 書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名 歯科医師会
会 長

印

歯科医療救護班として救護業務に従事した者に、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

様式第81

様式第 6 - 2

事故傷病者概要

氏 名		性 別	男・女	年 齢	歳
住 所					
職 種					
所属医療機関・団体名					
傷病名					
程 度	重 症 ・ 中等症 ・ 軽 傷				
転 帰					
外 来 ・ 入 院		年 月 日			
診 療 （ 入 院 ） 医 療 機 関 名					
受傷（発病）日時		年 月 日 午前 午後 時 時 分 分			
受傷（発病）場所					
受傷（発病）時の 状況					

※ 歯科医師会経由で報告する。

様式第82

様式第 7

費用弁償等請求書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の歯科医療救護に関する協定書に定めるところにより、費用弁償等として、下記の金額を請求します。

記

請求金額 円

公用令書	従事命令	第 号	年 月 日
従事した業務			
従事した場所			
従事した期間	年 月 日から 年 月 日まで		
			日間

※歯科医療救護班ごとに算出明細書を添付すること

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

委 任 状

年 月 日

私たちは、 歯科医師会長 を代表者として、今次災害の
歯科医療救護に係る費用弁償等の請求及び受領に関する一切の権限を委任しま
す。

住 所	氏 名	職 種	印

様式第84

様式第 9

歯 科 医 療 費 請 求 書

年 月 日

津島市長

殿

歯科医療機関所在地

名称

開設者氏名

印

「災害時の歯科医療救護に関する協定書」及び地域防災計画による歯科医療救護の費用として、下記の金額を請求します。

記

請求金額 円

添付書類

費用算出明細書

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

様式第85

様式第10

療養
休業
障害
遺族
葬祭
打切

扶助金支給申請書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の歯科医療救護に関する協定書に基づく損害賠償金として、下記の金額を支給してくださるよう関係書類を添えて申請します。

申請額

円

公用令書		第 号		年 月 日	
従事者 又は協力者	住所			職業	
	氏名			生年月日	
従事又は協力していた救助業務					
事故発生の日時及び場所					
事故発生の原因及び状況					
傷病名、傷病の程度及び身体の状況					
療養又は休業を要する見込期間					
事故発生時、本人 と親族関係にあつた 主な者の状況	氏名	続柄	生年月日	職業	備考

添付書類 算出明細書

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口座名義				
(フリガナ)				

※ 歯科医師会経由で報告する。

薬剤師班名簿

年 月 日

一般社団法人津島海部薬剤師会
会 長

印

職 種	氏 名	生年月日	住 所

様式第87

様式第 2

薬剤師班活動日報

年 月 日

薬剤師班 班長 _____ 印

薬剤師班の所属				
班員氏名				
従事医療救護 活動場所				
医療救護活動内容 ○で囲んでください	医薬品の供給	服薬指導	医薬品等の 保管管理	その他
備考				

※ 津島海部薬剤師会経由で報告する。

医薬品等使用簿

藥劑師班 班長

印

[illegible]

※ 津島海部薬剤師会経由で報告する。

業 務 災 害 報 告 書

年 月 日

津島市長

殿
住 所

氏 名 一般社団法人津島海部薬剤師会
会 長 印

薬剤師班として救護業務に従事した者に、別紙のとおり事故傷病者が発生したので報告します。

様式第90

様式第4-2

事故傷病者概要

氏 名		性 別	男・女	年 齢	歳
住 所					
職 種					
傷病名					
程 度	重 症 ・ 中等症 ・ 軽 傷				
転 帰					
外 来 ・ 入 院	年 月 日				
診 療 （ 入 院 ） 医 療 機 関 名					
受 傷 （ 発 病 ） 日 時	年 月 日 午前 時 分 午後 時 分				
受 傷 （ 発 病 ） 場 所					
受 傷 （ 発 病 ） 時 の 状 況					

※ 津島海部薬剤師会経由で報告する。

様式第91

様式第 5

費用弁償等請求書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の医療救護に関する協定書に定めるところにより、費用弁償等として、
下記の金額を請求します。

記

請求金額 円

公用令書	従事命令	第号	年 月 日
従事した業務			
従事した場所			
従事した期間	年 月 日から	日間	
	年 月 日まで		

※薬剤師班ごとに算出明細書を添付すること

金融機関 コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

様式第92

様式第 6

収入
印紙

委 任 状

年 月 日

私たちは、一般社団法人津島海部薬剤師会長 を代表者として、今次災害の医療救護に係る費用弁償等の請求及び受領に関する一切の権限を委任します。

住 所	氏 名	職 種	印

様式第93

様式第7

療養
休業
障害
遺族
葬祭
打切

扶助金支給申請書

年 月 日

津島市長

殿

住 所

氏 名

印

災害時の医療救護に関する協定書に基づく扶助金として、下記の金額を支給して下さるよう関係書類を添えて申請します。

申請額

円

公用令書		第 号		年 月 日	
従事者又は協力者	住所			職 業	
	氏名			生年月日	
従事又は協力していた救助業務					
事故発生の日時及び場所					
事故発生の原因及び状況					
傷病名、傷病の程度及び身体の状況					
療養又は休業を要する見込期間					
事故発生時、本人と親族関係にあった主な者の状況	氏名	続柄	生年月日	職業	備考

添付書類 算出明細書

金融機関コード	金融機関名	支店名	預金種類	口座番号
口 座 名 義				
(フリガナ)				

※ 津島海部薬剤師会経由で報告する。